

スカート揺動軌跡に関する研究

京都女大家政 ○岡部和代 山名信子

相愛女短大 中野慎子

目的 スカートの揺動は、人が着装した状態で、その動きに伴って、任意の位置をとらえることが望ましいと思われる。特にスカートを着装し、動きやすさや、シルエットの美しさを論ずるのは、前後側面からみた形態であろう。そこで本研究では、スカート表面の任意の位置の揺動、特にその軌跡をとらえ、スカートの揺動特性を明らかにすることを目的とした。

方法 試料としてフラノで製作したセミタイトスカートを用いた。丈は45cm, 65cmの2種類である。まず実験前にスカートの基準線上の表面に、蛍光染料が染み込ませてある太い糸を縫い込んだ。そのスカートを被験者が着装し、足踏みを行った。この時ブラックライトを照射し、時間的な流れのある動作間をカメラを開放状態にして撮影した。撮影した写真により、人体の動きとの関連でスカートがどのような特徴ある動きをするかを分析した。

結果 ブラックライトを照射すると、蛍光染料が発光する特性を利用して、スカート表面の任意の位置の揺動の軌跡を記録する事が可能となる方法を開発した。起点から終点までの揺動の軌跡をとらえ、定性的な特性がとらえられた。